

別記第2号様式（第3関係）

令和2年度 主目標・重点事業・チーム目標設定状況報告書

所属名	ひまわりの丘第三学園	所属長名	藤井 俊朗 印									
<p><b>主目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の自己実現のため個別支援計画に基づくサービスを提供するとともに、地域の福祉ニーズに応じたサービスを強化する。</li> </ul>												
<p><b>重点事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者の生活環境の維持、改善を図りながら、ひまわりの丘再整備事業を進める。 利用者・家族に情報提供しながら移行を進めるとともに、現施設においても必要な営繕工事を実施し、安全・安心な環境整備に努める。</li> <li>② 利用者ニーズに応じた個別支援計画に基づき、生きがいのある生活を支援するとともにユニット支援の充実を図る。また、利用者の特性を理解し対応できる専門性の高い職員を育成するため令和2年度も国立のぞみの園への1年間の研修派遣を行うとともに、研修派遣から戻った職員を核としたチームによる入所利用者を対象とした構造化の取り組みを始める。</li> <li>③ 令和3年度の第4期建設工事に向け、強度行動障がい者を支援するために必要な条件を整えられるよう情報収集および検討会を行い、実施計画に反映させる。</li> <li>④ 利用者が安心して生活できるよう相談支援事業所と連携し、家族や医療・行政機関等との情報共有を図るとともに、成年後見制度の活用を進める。また、地域で生活する障がい者を支援するため、生活介護、短期入所、日中一時支援の事業を継続する。</li> </ol>												
<p><b>企画経営担当</b></p> <p>チーム目標（重点事業①）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予算に基づく計画的な執行に心がけるとともに、即時対応が必要な執行については適宜に対処し、第三学園全体の適正なコスト管理の継続を図る。</li> <li>・健全な施設経営のために安定した利用率確保を目指す。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>入所利用率</td> <td>目標</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>生活介護利用率</td> <td></td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>短期入所利用率</td> <td></td> <td>10%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備に伴う第四学園利用者の受け入れ体制を強化し、必要な生活環境等の整備を行う。</li> </ul> <p>チーム目標（重点事業②）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士・看護師・ワーカー等の多職種が連携し利用者が安心・安全な生活を送れるよう努める。</li> </ul> <p>チーム目標（重点事業③）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備のチームと共に随時、会議、検討会等にて情報収集、共有を行い、必要な条件の整備を行っていく。</li> </ul>				入所利用率	目標	76%	生活介護利用率		82%	短期入所利用率		10%
入所利用率	目標	76%										
生活介護利用率		82%										
短期入所利用率		10%										

## 生活支援1担当

### チーム目標（重点事業①）

- ・再整備・なごみ棟移行、第四学園利用者受け入れにむけて、第四学園、いこい棟、ひまわりの丘全体との連携、情報共有をし、スムーズな移行が行えるよう環境整備、利用者・ご家族への説明、契約、引っ越し等を行う。

### チーム目標（重点事業②）

- ・利用者ニーズに応じた個別支援計画を作成し、生きがいのある生活ができるよう、個別支援を実施、評価をしていく。また、ユニットでの活動を充実したものにしていくために、環境整備を行い、職員体制、利用者日課や活動内容の確立、充実につなげる。
- ・のぞみの園派遣研修から戻った職員、また現在派遣研修中の職員と連携をとりながら、第三学園利用者の支援の向上、構造化の推進、課題解決、職員育成をすすめていく。
- ・利用者ひとり一人の特性や障がいの理解をし、それぞれにあわせた支援ができるよう園内研修、復命研修、ケース検討会、のぞみの園研修を実施し、専門性の高い職員を育成する。

### チーム目標（重点事業④）

- ・それぞれの利用者の望む生活が実現できるように、必要に応じて相談支援事業所や家族、医療、行政機関等との情報交換をし、連携体制を整えていく。

## 生活支援2担当

### チーム目標（重点事業①）

- ・ひまわりの丘再整備での6月からのなごみ、第四学園から第三学園への移行では、利用者、ご家族へは連絡を密にし、情報提供しながら進めていく。また、現施設も安全・安心した環境設備に努める。

### チーム目標（重点事業②）

- ・利用者の特性を理解し対応ができるよう、定期的に研修会を実施する。また、利用者のニーズに沿った個別支援計画を作成し、それに基づいた支援ができる体制を定着する。

### チーム目標（重点事業④）

- ・利用者が、安心して生活できるよう、ご家族も含めた医療・行政機関等と連携していく。

## 地域支援担当

### チーム目標（重点事業①）

- ・ひまわりの丘再整備による6月からの新体制通所部への円滑な移行を進めると共に、移行後の安全・安心な環境整備に努める。

### チーム目標（重点事業②）

- ・利用者の特性を十分把握し、利用者の希望をふまえながら、一人ひとりにとって満足のできる日中活動の場を提供する。

### チーム目標（重点事業④）

- ・短期入所および日中一時支援について、家族の希望をくみ取り、可能な限り受入を行う。